

法人（事業所）理念		『共に生きる力を育む』							
支援方針		・中高生が対象であるので自己選択・自己決定の出来る力をつけていくように支援していきます ・それぞれの個性にあった支援を心がけ強みを生かした支援を行ったいきます ・子供の気持ちをしっかりと受け止めることで信頼関係を作り安心して過ごせる居場所作りをしていきます ・保護者の方との連携をしっかりと本人と御家族にとってより良い支援ができるようにしていきます ・卒業後に向けた相談や日頃の悩みを聞いて一緒に解決策をさがしていきます							
営業時間		平日 学校休み	10 時 9 時	00 分 00 分	19 時 18 時	00 分 00 分	まで まで	送迎実施の有無	あり なし
サービス提供時間		平日 学校休み	14 時 10 時	30 分 00 分	17 時 16 時	30 分 00 分	まで まで	送迎の実施範囲	概ね片道20分圏内
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・毎日の健康管理を行います。小さなサインから心身の変化や異変に気づけるように観察を行い、必要な場合は対応します。 ・登降時の身辺処理（靴の着脱や整理、荷物の整理、提出物の管理）を利用者様に合わせて実施し、自立出来るよう支援します。 ・1日の流れ等の説明は、視覚支援を用いるなど利用者様の理解しやすい方法で伝え、安心して過ごすことが出来るよう支援します。 ・健康な生活習慣の促進や健康な心と生活のスキルの習得を目指します。							
	運動・感覚	・集団活動において、運動や音楽リズム等体を使う活動を提供し、身体機能の維持・向上を図ることが出来るよう支援します。 ・集団活動において、視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう、様々な体験を提供し支援します。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援します。 ・「感覚」「微細運動」「粗大運動」に分けて考えて支援します。							
	認知・行動	・色や数字、物の名前等様々な概念の獲得に向け、利用者様の特性や能力を把握し、個別での課題の提供を行います。 ・認知の偏りを把握し、支援を行うことでこだわりを減らしていけるよう支援します。 ・主活動を通して、視覚・聴覚・触覚等の感覚を刺激し、興味の幅を広げることが出来るよう支援します。 ・コグニッショントレーニングや脳トレを取り入れて認知機能を強化していきます。							
	言語 コミュニケーション	・集団活動や余暇時間を使い、コミュニケーションの経験を積むことが出来るよう支援します。 ・利用者様に合わせて、絵カードやサインを用い、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 ・集団活動において、他者とのやり取りの場を提供し、必要に応じてスタッフが間に入り支援します。							
	人間関係 社会性	・利用者様に合わせて、思いに寄り添った言葉かけを心がけ、利用者様とスタッフの良好な関係を図ります。 ・集団活動や余暇時間を通して、ルールや順番を守る事や、協調した関わりが持てるよう支援します。 ・他者との適切な距離感が把握出来るように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係が築けるよう支援します。							
家族支援		・ご家族の子育てに関する困りごとや、卒業後等に向けた相談援助を行います。 ・レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援を提供します。				移行支援		・卒業後の進路先との連携を取っていきます	
地域支援・地域連携		・学校や地域の相談支援事業所との連携や連絡調整を行っていきます。 ・バザーの開催				職員の質の向上		・事業所が提供する支援の質の確保、職員の質の向上に資することを目的として、法人内部および外部研修に参加していきます。	
主な行事等		・茶話会（保護者会）の開催 ・長期休みのお楽しみ会の内容を自分たちで決めていく子供も会議の開催 ・夏休みを使っての職場体験など							